

# Case Study

シェイク研修 導入事例 取材レポート

vol. 16

## 株式会社 ジュピターテレコム

人事部 人材開発部  
教育研修チーム  
秋場 夏美氏



「3年で1人前、10年で市場価値のある人材に」をコンセプトに社員の育成に取り組んでいるJ:COM。スピード感のある業務の中でも、GPDCAをまわし、プロアクティブに行動する人材が求められている。

「もっともっとJ:COMを好きになってほしい」と新入社員への想いを熱く語る人材開発部の秋場さんに、入社1年目・2年目社員へのフォロー研修についてお話を伺った。

### 会社プロフィール

1995年設立。ケーブルテレビ局の統括運営を通じた有線テレビジョン放送事業及び電気通信事業。ケーブルテレビ局及びデジタル衛星放送向け番組供給事業統括。

### 実施概要

新卒2年目社員の年次別フォロー研修として145名に「セルフマネジメントDRIVE」研修を2月に実施。また、新卒1年目社員の年次別フォロー研修として160名に「セルフマネジメントEVERYDAY」を3月に実施。

shake inc.

数ある研修の中から、  
シェイクの研修を導入された  
きっかけを教えてください。

ニーズを網羅した質の高いコンテンツ

いくつかの研修会社を比較させてもらったのですが、目的は何かを考えたり、振り返りだけだったりというように、一点に偏っているものが多い中で、シェイクの研修は、弊社のニーズにマッチしていました。1年目の社員は、社会人として初めての年を過ごし、戸惑うこともたくさんあったのではないかと思います。そこで、1年を振り返り、2年目に向けて、更に成長しようとする心構えを持ってもらいたいと思っていました。また、2年目の社員は、仕事にも慣れ、実務が見えてくる年だと思います。自

◎ 事例紹介 — for 新入社員

## 走り続けた1年を振り返り、 次のステージへのマインドを身につける 1年目・2年目フォロー研修

分一人の仕事の範囲や、自分が何をすれば良いのかということはイメージを持って取り組むことができるようになってきています。次のステップとして彼らに期待することは、自己の視点、自己の成長だけでなく、周りから期待されていることは何か、自分の役割は何かということ意識しながら、主体的に動ける社員になってもらいたいということでした。そういったことをテーマに、ご提案してくださったのがシェイクの研修でした。特にコンテンツの質が高く、研修の中で取り組むケース(事例)は実際に自分のことに置き換えてイメージできるような具体的なものでしたので、これは受講者の理解度が高まるだろうと思いましたね。非常に良く練られていると思います。また、シェイクの対応は、非常にスピード感があります。これまでもシェイクの研修を導入していますが、タイムスケジュールやコンテンツも弊社用にカスタマイズしていただいております。そのようなこともシェイクの研修を選んだ理由です。

研修はいかが  
でしたでしょうか？

研修に期待していたことは、  
マインドを向上させ、  
いきいきと動くきっかけとなることでした。

1年の締めくくりの時期に、同期で集まって振り返る機会を作ることは非常に意味のある

ことでした。入社後の新入社員研修が終わった後、本配属で全国に配属されます。それから、同期が再び会う機会はこのフォロー研修となります。同期が集まることで、モチベーションもあがり、みんなも頑張っているんだ、自分もまたがんばろう!という気持ちになるのだと思います。

次年度のための自己理解

更に、1年目の社員にとっては、成功体験と失敗体験を通して自身を見つめなおすことで、自分を理解することができていたようです。そこで気づいたことが彼らの自信やモチベーションにつながって、次の年に活かせるのだと思います。そして、2年目になるとマーケティング、CS推進、広報など、さまざまな部署での活躍

が増え、視野が広がっています。2年目の彼らが次のステップに行くには、自分一人で行っているのではなく、周りを巻き込み、相手がいるということ意識しながら仕事をする必要があります。1年目の社員も2年目の社員も、仲間がいるということ、一人で仕事をしているのではないという気づきがあったようです。久しぶりに同期で集まって振り返ることのできる研修は、お互いに良い刺激を受けることができます。みんなで同じ方向を向いて頑張ろうと思う場所であり、情報を交換する場所。また、気心知れた同期同士だからこそ言えるガス抜きをする場所という点でも、効果があるのでしょうか。それが、また、良い方向に向かうきっかけになると思います。

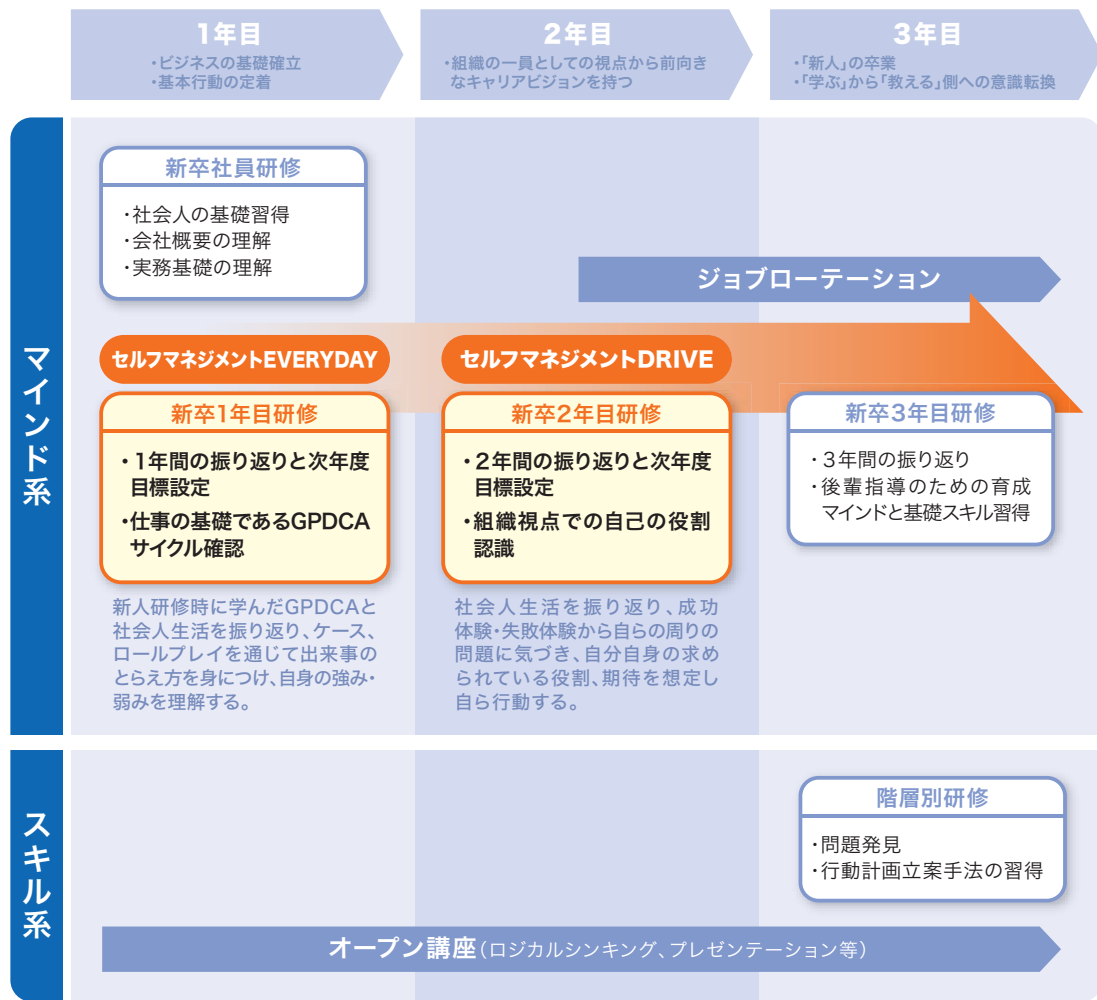
研修を通して、受講者の反応は  
いかがでしたでしょうか。

「1年前にはわからなかったGPDCAが、この時期に見直すことによって、しっかりとわかった!」と再認識したという言葉を聞きましたね。研修を通して、視野が広がり、日常で悩んでいることを解決するきっかけにもつながったということもあったようです。

後は、社員がこの研修をきっかけに、よりいきいきと働いてもらえればと思います。

プロジェクト全体像

1年目研修「セルフマネジメントEVERYDAY」と2年目研修「セルフマネジメントDRIVE」を組み合わせた今回の事例をご紹介します。



アンケートより

研修に参加した方々にアンケートに答えて頂きました。

**振り返りの機会(Check&Action)の重要性を知った。**

現在行き詰まっている問題を解決する取っかかりのようなものが見つかった気がします。「何かをする」ことに原因や理由・結果を求めることは自分の中での新しい発見でした。

**「過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えることができる」…視点が広がった。**

「変えられないもの」を考え悩んでもしょうがないと気づけたのは収穫です。難しいことですが、変え得る自分の方に焦点を当てた考え方を身に付けます。

**自分が「今、何に囚われているか？」を認識することができた。**

「とらえ方を変えることができないとは、囚われているということ」心によく響いて納得させられる言葉でした。自分にあてはまった部分もあり考えさせられました。

**視点を変えて考え、「変えられるもの」を変えていきたい。**

私は常に「この人はこう思っているだろう」「どうせこうなるんだ…」と、自分の固定観念の中で生きていることが多いので、第三者だったり、相対する人だったり自分を置きかえてみることは常にしたいと思いました。